



皆様の「快適な暮らし」のヒントに すまい造りメール

第286号 2026年1月号

SINCE 2002.4.1.

謹賀新年

申し上げます
よろしくお願
ご愛顧の程
これからも倍旧の
申し上げます
謹んでお慶び
新春を寿ぎ



あっ、住みから住みまで、すずすう～と、
お願いたてまつ～る



日頃よりご愛顧を賜りましてありがとうございます。「すまい造りメール」をご覧いただきまして、重ねて御礼申し上げます。皆様の「快適な暮らし」のヒントやサポートとなるような取り組みを続けて参ります。皆様におかれまして、2026年が素敵な一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

「感謝の気持ち」を忘れずに

2026年の弊社の取り組みは、昨年に引き続き、「住み続けられるまちづくりを」を目標として、「感謝の気持ち」を忘れずに、環境や社会状況の変化に対応しながら、皆様のそれぞれのライフスタイルに合った最適なプラン「夢の実現」に微力ながらお手伝いさせていただきます。



「すまい造りメール」は、住まいに関する情報をはじめ、地域に密着した新鮮な情報や楽しい話題を提供できるように心掛けます。また、いろいろな意味で双方 向型のコミュニケーションを模索して参ります。

「よこすか文学館」では、横須賀で生まれ育った俳人・進藤一考の俳句を取り上げます。中古、中世の物語文学を中心に研究されている中島正二氏に引き続き執筆していただきます。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」では、弊社が担当した施工事例をわかりやすく説明させていただきます。

「AMAPPO ARTICLE」では、横浜国立大学大学院の大学生・大学院生の視点から追浜のまちづくりについてレポートしていただきます。

発行日令和8年1月1日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
<http://www.sano-k.net/>
info@sano-k.net

ローカルニュース 地域情報

干支に関連したことわざです。まさに「禍福は糾える縄の如し」です。

塞(とりで)の近くに占いに精通した翁(おきな)がいました。

ある日、とつぜん飼っていた馬が逃げ出してしまいました。周りのみんなは慰めましたが老人はうばいすることなくこう言いました。「これが幸福となるかもしれません」と。

数ヶ月たって、その馬が駿馬を連れてどつてきました。周りのみんなは祝福しましたが老人はじっと馬を見つめてこう言いました。「これが禍となるかもしれません」と。

ある日、老人の息子が落馬してさらに大けがを負ってしまいました。周りのみんなは慰めましたが、老人は静かにこう言いました。

「これが幸福となるかもしれません」と。

しばらくすると、争いがおこり、塞に敵が攻め込んできました。若者たちは祖国を守ろうと戦いましたが、この老人の息子だけはけがのために戦うことができず父子ともに無事でその後も幸せに暮らしました。



Next100
創業 1960.1.20.
創刊 2002.4.1.

AMAPPO ARTICLE

追浜駅周辺では現在、複数の事業が同時に進行しています。サンビーチ追浜4階にある「追浜えき・まち・みちデザインセンター」では、横浜国立大学大学院の大学生・大学院生が学生ディレクターとして、追浜駅周辺の地域の方々、企業、教育研究機関、行政等と連携し、持続的なまちの発展を目指し、まちづくりに関する課題解決のために「情報発信」「調査・実践」「課題解決」などの活動をサポートしています。また、追浜の魅力やまちづくりを学生の視点で紹介する地域密着型マガジン「OPPAMA MAGAZINE」を発行しています。



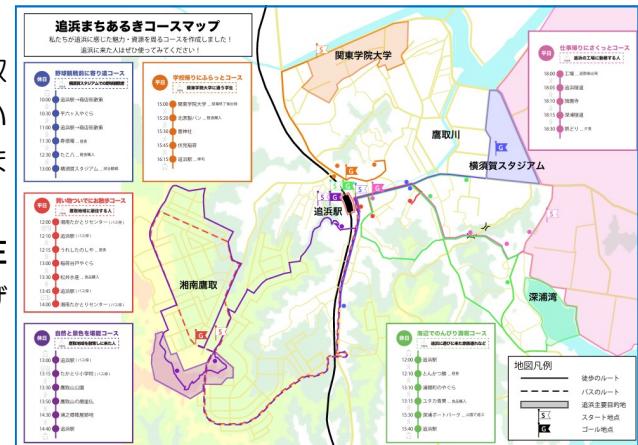
今回から3回にわたって（予定）、私たちが取り組んできた活動の一部を紹介します。

2023年度には、調査を通じて感じた追浜の魅力・地域資源を回るコースを6種類作成し、「追浜まちあるきコースマップ」としてまとめました。

私のイチ推しは「自然と景色を堪能コース」。湘南鷹取から垣間見える海は特に印象的で、開けた景色を楽しみたい人にはぴったりです。ただし、現在は鷹取山の磨崖仏の前までは立ち入れないので、散策の際はご注意ください。

私たちの活動の詳細は、「OPPAMA MAGAZINE vol.1」にて紹介しています。「追浜えき・まち・みちデザインセンター」のサイト上に公開されていますので、ぜひ、そちらもチェックしてみてください。

（担当・横浜国立大学大学院 渡部）



追浜

えき・まち・みちデザインセンター

OPEN
サンビーチ追浜4階 月火木金土
10:00~17:00

追浜駅周辺では現在、複数の事業が同時に進行しています
30年後の追浜駅周辺の将来像を描いた
「追浜えき・まち・みちビジョン」をゲットしよう



よこすか文学館

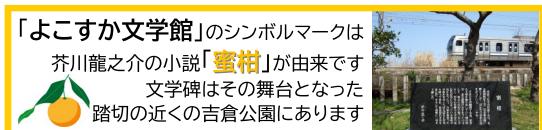
【121】

横須賀で生まれ育った俳人進藤一考（しんどう・いっこう、1929-1999）の作品を紹介します。

第2句集『黄壁山』（1984年）収載。「しほさゐ」は「潮騒」で、潮が満ちてくるときの波の騒ぎ立つ音。「弟橋媛（おとたちはなひめ）」は、日本武尊（やまとたけるのみこと）の后。日本武尊が東征の際に走水の海（浦賀水道）を渡ろうとしたとき、海が荒れ舟が進まなくなり、弟橋媛が身代りとして海に身を投げ海神の祟りを解きました。その弟橋媛を祀った走水神社に初詣をして「朱の破魔矢」をもとめたという意味の句でしょう。

（洗足学園中学高等学校教諭 中島正二）

朱の破魔矢
弟橋媛の
しほさゐや



お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap2026」A-9歩ZONE版（永久保存版）をBlog「Oppamap2026」よりダウンロードすることができますので、是非ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索